

一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2026年2月）議事録

日 時：2026年2月20日（金）午後5時30分～7時50分

場 所：ZoomによるWeb会議

議 長：永富良一理事長

出席者：永富良一理事長、

内藤久士、小熊祐子各副理事長、

中田由夫常務理事、赤間高雄、井上 茂、

甲斐裕子、勝川史憲、後藤勝正、下光輝一、

須永美歌子、竹森 重、田畑 泉、成田和穂、

浜岡隆文、檜垣靖樹、前田清司、町田修一、

宮下政司、宮地元彦各理事、石井好二郎監事、

家光素行第79回大会事務局長、

津田英一第80回大会長、

松田尚也第80回大会実行委員長、

西村信哉第80回大会事務局長、

田島卓也第81回大会長、

山口奈美第81回大会事務局

欠席者：岡浩一郎、田村好史、中里浩一、

宮川俊平各理事、清田 寛、小林康孝各監事

【審議事項】

1. 前回議事録の承認（永富理事長）

理事会終了時までに訂正等がなかった場合には、自動的に承認されることにした。

2. 名誉会員制度内規の改定について（井上総務委員長）

資料に基づき、名誉会員制度内規の改定が提案され、審議の結果、承認された。

3. 名誉会員名簿の公開について（井上総務委員長）

名誉会員名簿の公開について説明がされ、審議の結果、承認された。

4. 長野大会長の推薦について（井上総務委員長）

資料に基づき、杉本光公氏（信州大学学術研究院（総合人間科学系）・全学教育センター教授）が第82回日本体力医学会大会（長野）の大会長に推薦され、審議の結果、承認された。

5. 評議員名簿の公表の最終確認（井上総務委員長）

資料に基づき、評議員名簿の公表について説明がされ、審議の結果、承認された。

6. 青森大会における部会・若手の会の企画の希望について（井上総務委員長）

資料に基づき、青森大会における部会・若手の会の企画について説明がされ、審議の結果、承認された。

7. 理学療法士部会企画シンポジウムの「日本糖尿病理学療法学会」との共催の希望について（井上総務委員長）

大会中の理学療法士部会企画シンポジウムの「日本糖尿病理学療法学会」との共催について説明がされ、審議の結果、承認された。

8. 健康運動指導士部会交流会及び関連シンポジウムへのスポット参加の提案について（井上総務委員長）

大会中の健康運動指導士部会交流会及び関連シンポジウムへのスポット参加について説明がされ、審議の結果、承認された。

9. 役員の選出に関する規程の改定について（中田常務理事）

資料に基づき、役員の選出に関する規程の改定について説明がされ、審議の結果、承認された。

10. 新委員の承認について（中田常務理事）

資料に基づき、財務委員会と広報委員会HP改訂WGの新委員について説明がされ、審議の結果、承認された。

11. 学会ウェブサイト改修の業者選定について（中田常務理事）

資料に基づき、学会ウェブサイト改修の業者選定について説明がされた。業者選定の方法を審議し、後日メーリングリスト上にて評価を行い、業者を決定することが承認された。

メーリングリスト上の評価の結果、株式会社オークにて業者が決定された。（2026年3月2日追記）

【報告事項】

1. 各種委員会報告

1) スポーツ医学研修委員会（町田学術委員長）

- ・資料に基づき、第31回日本体力医学会スポーツ医学研修会の実施について報告された。
- ・資料に基づき、日本体力医学会の各部会への当研修会の説明会実施について報告された。
- ・資料に基づき、第32回日本体力医学会スポーツ医学研修会での実施時期の変更について報告された。

2) 総務委員会（井上総務委員長）

- ・資料に基づき、規程等の管理・公開について報告された。
- ・資料に基づき、部会・若手の会について報告された。
- ・資料に基づき、会員情報・大会後アンケートについて報告された。
- ・資料に基づき、大会の支援について報告された。

3) 編集委員会（後藤編集委員長）

資料に基づき、「JPFMS」誌、「体力科学」誌の投稿・掲載状況が報告された。

1. 「JPFMS」誌、「体力科学」誌の投稿・掲載状況
＜投稿状況＞（2025年9月1日～2026年1月31日）

「JPFMS」誌： 新規投稿15編（内海外3編含む）

2026/1/31現在、審査中7編

※前年同期間：新規投稿14編

（内海外2編含む）

「体力科学」誌：新規投稿13編（内依頼1編含む）

2026/1/31現在、審査中8編

※前年同期間：新規投稿8編

＜発行予定＞

「JPFSM」誌

○Vol. 15, No. 2 (2026年3月25日発行)

Regular Article 3 編

○Vol. 15, No. 3 (2026年5月25日発行)

Short Review 1 編 + Regular Article 2 編

○Vol. 15, No. 4 (2026年7月25日発行)

Regular Article 3 編

○Vol. 15, No. 5 (2026年9月25日発行)

Regular Article 3 編

○Vol. 16, No. 1 (2027年1月25日発行)

Regular Article 3 編

○Vol. 16, No. 2 (2027年3月25日発行)

Regular Article 3 編

○Vol. 16, No. 3 (2027年5月25日発行)

Regular Article 3 編

○Vol. 16, No. 4 (2027年7月25日発行)

Regular Article 2 編 + Short Communication 2 編

○Vol. 16, No. 5 (2027年9月25日発行)

Regular Article 2 編 + (今後の受理論文)

「体力科学」誌

○Vol. 75, No. 2 (2026年4月1日発行)

総説 1 編 + 原著 2 編

○Vol. 75, No. 3 (2026年6月1日発行)

特集号の予定

○Vol. 75, No. 4 (2026年8月1日発行)

教育講座 1 編 + (今後の受理論文)

2. 報告事項

J-STAGE 早期公開について

J-STAGE で早期公開を開始 (2025年12月11日)

(現在JPFSMのホームページ [Online First] に掲載されている論文については、順次公開を進めている)

4) 学術委員会 (町田学術委員長)

資料に基づき、「第3回AIセミナー」、「多施設共同による運動介入研究」、「研究助成申請」について

報告された。

5) 倫理委員会 (成田倫理委員長)

資料に基づき、第79回日本体力医学会大会 (滋賀大会) 一般演題の倫理的手続き状況の集計結果について報告された。

2. 第79回 (滋賀) 大会の報告

(家光第79回大会事務局長)

資料に基づき、第79回 (滋賀) 大会の参加者数、演題数、収支について報告された。

3. 第80回 (青森) 大会の進捗状況 (津田第80回大会長)

資料に基づき、第80回 (青森) 大会の進捗状況が報告された。

4. 第81回 (宮崎) 大会の進捗状況 (田島第81回大会長)

田島第81回大会長より、第81回 (宮崎) 大会の進捗状況が報告された。

5. 日本医学会・日本医学会連合関連の報告

(小熊副理事長)

小熊副理事長より、「日本医学会分科会用語委員会」、「日本医学会連合 TEAM 事業」、「日本医学会連合社会部会リトリート」について報告された。

6. 学会賞の位置づけについて

(宮地学会賞等選考委員長)

資料に基づき、学会賞の位置づけの検討状況について報告され、その方針、および運営手順等について今後の理事会で継続して審議することになった。

7. その他

1) 宮地理事より、AMED「元気につながる生命現象の解明と制御」に日本体力医学会の会員が2名選出されたことが報告された。

第49回（2027年）公益財団法人 石本記念デサントスポーツ科学振興財団学術研究募集

主催：公益財団法人 石本記念デサントスポーツ科学振興財団
THE DESCENTE AND ISHIMOTO MEMORIAL
FOUNDATION FOR THE PROMOTION OF
SPORTS SCIENCE

応募資格：

- ①体育学，健康科学，人間工学，被服科学，運動施設工学等健康の増進と体力の向上に関わる学術，およびその他スポーツ振興に寄与する学術研究に関する講座を持った大学，およびこれに準ずる研究機関に所属する個人またはグループ。
 - ②高校生から幼児までの教育機関に奉職しており，①に前述した分野で研究または調査活動を積極的に行っている個人またはグループ。
- この場合，運動生理学的研究でなくとも，あくまで教育現場に於ける身近なテーマで，すぐにも役立つ研究テーマを求めている。
- 但し，研究報告等に不慣れな人は，報告書作成に習熟した人を共同研究者に加えて申請のこと。
- ①②ともeAPRINなどの研究倫理教育を修了していることを必須とする。

学術研究テーマ：

第一部 課題学術研究

本年度テーマ

- ①「暑熱環境下における運動パフォーマンスのサポート，または快適性を実現する被服・用具に関する研究」
年々過酷さを増す夏の環境下において，スポーツウェア，用品における暑熱環境下での運動パフォーマンスサポートまたは快適性を実現する幅広い視点からの提言を頂きたい。
- ②「運動時に着用する被服・用具における“心地よさ”などの感性値の解明と定量化，及びそれらに基づく被服・用具の製品設計に関する研究」
運動時における心地よさ，動きやすさ，温熱的な快適さなどヒトの感性（感覚）値を，生理学的，物理学的あるいは心理学的な手法を組み合わせ分析・定量化する研究。また，それらに基づいたウェア・用具の製品設計に関する研究。
- ③「ウェアの着用が心身のコンディショニングおよびリラックス効果に及ぼす影響に関する研究」
スポーツウェアや用具が，身体的なパフォーマンス維持だけでなく，精神的なコンディショニング（リラックス，集中，ストレス軽減等）に及ぼす影響に焦点を当てた研究。特定の生地素材や衣服圧，肌触りなどの物理的刺激が，自律神経や心理状態に働きかけるメカニズムの解明，あるいは「心身の整い（コンディショニング）」を促す新たなウェアのあり方についての提言。
- ④「被服・用具による身体の動かしやすさへの影響に関する研究」

アスリートがパフォーマンスを最大限発揮するため，あるいは一般の方がより快適に運動するために，身体の動かしやすさは必要不可欠であるが，動かしやすさを定量的に評価した研究事例は少なく，その要素も明らかになっていない。

身体の動かしやすさを評価する方法の提案，衣服圧や生地の摩擦抵抗との関連性など，様々な視点から動きやすさに関する提言をいただきたい。

第二部 自由課題学術研究

本財団の主旨に添ったものであり，申請者がこれまで行って来た研究を助成することによって，調査・研究の発展・充実が期待されるものであること。

応募方法：

本年度の公募締切日は2026年8月2日(日)

電子申請による申し込みとします。

応募者は<http://www.descente.co.jp/ishimoto/>

助成金申請はこちら> 画面下部のボタンをクリックして下さい。

申請フォームは8月2日(日)に自動的に締め切られます。

選考方法：

当財団の学術委員により厳正な採点選考を行い，学術委員会にて助成者を最終決定。

資料の請求および問い合わせ：

〒567-0086 大阪府茨木市彩都やまぶき2-3-2

デサントジャパン(株)DISC OSAKA内

公益財団法人 石本記念デサントスポーツ
科学振興財団 編集局

TEL 080-1499-1719, 080-4394-8095

ホームページアドレス：

<http://www.descente.co.jp/ishimoto/>

E-mail：zaidan@descente.co.jp

助成者の入選内定通知：

研究助成の対象として採択された研究者に対し，当財団よりメールにて本人通知する。

(2026年11月下旬の予定)

なお，入選されなかった方には，12月下旬までに当財団よりメールにて本人宛通知する。

助成金の交付：

第一部「課題学術研究」

入選100万円（研究期間別途設定，件数2～4件）を予定

第二部「自由課題学術研究」

最優秀入選100万円（2～3件），優秀入選50万円（17～18件）合計20件を予定

受賞者は，2027年2月に贈呈式にて発表し，助成金は，3月31日までに交付する。

なお，研究助成は個人またはグループを対象とし，所属機関の間接経費，一般管理費は助成の対象にしない。

その他の詳細については，当財団ホームページで確認のこと。

公益財団法人 明治安田厚生事業団 第42回 若手研究者のための健康科学研究助成

研究テーマ ※いずれか1件のみ応募可

- a. 指定課題：健康増進のための実装研究
エビデンスに基づく健康増進策を社会に普及・定着させる方法の開発とその評価を行う「社会実装型」の研究
- b. 一般課題：健康増進に寄与する学術研究

助成の金額

総額1,500万円

- a. 指定課題（1件以内）：1件につき300万円
- b. 一般課題（12件以内）：1件につき100万円

助成期間

2年間

応募資格

- ・健康科学研究に従事し、修士以上の学位を有する方（医学・歯学・薬学の学士などを含む）、かつ所属長または指導教官の推薦を受けた方
- ・指定課題：50歳未満の方^{*}、ただし第38回以降の指定課題受贈者および応募開始時点で当該研究助成を受贈中の方は除く
- 一般課題：40歳未満の方^{*}、ただし当該研究助成の既受贈者は除く（第41回までの受贈者は応募不可）

^{*}2026年7月1日（応募開始）時点の年齢

応募締切

2026年10月1日（木）必着

主 催 公益財団法人 明治安田厚生事業団
後 援 日本体力医学会
明治安田生命保険相互会社

選考委員

委員長 井澤鉄也（同志社大学大学院スポーツ健康科学研究科教授）

a. 指定課題

委 員：荒尾 孝（公益財団法人明治安田厚生事業団体力医学研究所名誉所長）

委 員：小熊祐子（慶應義塾大学スポーツ医学研究センター教授）

委 員：川上憲人（東京大学大学院医学系研究科特任教授・一般財団法人涼風会代表理事理事長）

委 員：島津太一（国立がん研究センターがん対策研究所行動科学研究部部長）

委 員：中村陽一（立教大学名誉教授）

b. 一般課題

委 員：井澤鉄也（同志社大学大学院スポーツ健康科学研究科教授）

委 員：井上 茂（東京医科大学公衆衛生学分野主任教授）

委 員：北 一郎（東京都立大学人間健康科学研究科教授）

委 員：永松俊哉（山野美容芸術短期大学学長）

委 員：村岡慈歩（明星大学教育学部教授）

（敬称略・五十音順）

●応募方法：

応募申請書作成の前に当事業団ホームページ掲載の動画内容をご確認ください

申請書を研究助成ホームページからダウンロードして作成してください

作成した「申請者情報ファイル（エクセル形式）」と「研究計画ファイル（ワード形式）」を事務局宛にメールでお送りください

※パスワードが設定されたファイルや圧縮されたファイルは受理できません

●申請書ダウンロード：

URL: <https://www.my-zaidan.or.jp/josei/entry/>

●申請書送付：

E-mail: josei@my-zaidan.or.jp

●お問合せ：

公益財団法人

明治安田厚生事業団体力医学研究所

研究助成事務局

〒192-0001 東京都八王子市戸吹町150

TEL 042-691-1163 FAX 042-691-5559



編 集 後 記

本誌の編集委員を2015年から務めておりますが、編集後記の執筆はおそらく二度目です。今回は、ワールドカップ2018ロシア大会が開催されている6～7月に執筆させていただきました。日本が見事にグループリーグを突破し、当時FIFAランキング3位の強豪国であるベルギーと素晴らしい試合を見せてくれた時期です。そして今回はワールドカップ2026北中米大会の最中。残念ながらラウンド32でブラジルに敗れてしまいましたが、三笥薫選手、遠藤航選手、久保建英選手などの力のあるメンバーを欠く中で、チームとしての組織力で世界と戦う姿に感銘を受けました。この原稿を書いている段階ではまだベスト16も出そろっていませんが、いまから次のワールドカップが楽しみです。

さて、体力科学第75巻4号が発刊されます。本号は門間陽樹先生と井上茂先生による巻頭言にも示されていますように、「日本体力医学会における部会・若手の会発足と今後の取り組み」と題した特集号となっております。2023年9月より、永富良一先生が新しい理事長となり、わたしを含めた新しい理事会が組織され、本学会の活性化に向けたさまざまな取り組みについて議論がなされました。議論を通じて、2024年8月に専門部会および若手の会の設立趣意書が公開され、2025年2月に理学療法士部会、健康運動指導士部会、医師部会、若手の会が発足し、

それぞれが2025年9月に滋賀県で開催された第79回日本体力医学会大会でシンポジウムや交流会を企画しました。本号では、理学療法士部会については高田拓明先生ほか、健康運動指導士部会については街勝憲先生ほか、医師部会については小熊祐子先生ほか、若手の会については桑水隆多先生ほか、それぞれの世話人の先生方により、各会の発足に至る経緯や活動計画が、資料論文としてまとめられています。

本号では紹介されておりませんが、2025年10月には、JSPO-AT部会も立ち上がりました。青森県弘前市で開催される第80回日本体力医学会大会では、これらの部会・若手の会による企画が予定されています。それぞれの企画には、有資格者に限らず、どなたでも参加できますので、是非、新しく発足された部会・若手の会の活動に注目してください。

また、青森大会ではそのほかにもたくさんの魅力的なシンポジウム等が企画されています。津田英一大会長をはじめとして、弘前大学を中心とした多くの先生方が準備を進めてくださっています。是非、会場に足を運んでいただき、会員間での交流を図っていただければと思います。

中 田 由 夫

The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol.75, No.4

体 力 科 学 第75巻第4号

令和8年7月25日 印刷
令和8年8月1日 発行

編集兼発行者
発 行 所

編 集 事 務 局

印 刷 所

後 藤 勝 正
一般社団法人日本体力医学会
〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13
RENEX Shin-Otsuka 3F 学会支援機構内
TEL: 03-5981-6015 FAX: 03-5981-6012
E-mail: jspfsm@asas-mail.jp
〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1
鶴岡印刷株式会社内
TEL: 0235-22-3120 FAX: 0235-22-3120
E-mail: hj-tairyoku@turuin.co.jp
〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1
鶴岡印刷株式会社